



米穀機構 情報部

No. **10**
2008年8月発行

(社)米穀安定供給確保支援機構(米穀機構)情報部
〒102-0083 東京都千代田区麹町3-3-6
TEL.03-3222-9583 FAX.03-3264-1771

米穀機構情報部では、お米に関する様々な情報をホームページ「米ネット」及び紙媒体により提供をしています。
その一環として「米穀機構・情報部かわら版」NO.10を発行いたします。今回は、「基本指針」(平成20年7月公表)より、米穀の需給見通し、米の1世帯当たりの購入数量、政府米(国産米)の試行的販売、政府及び民間流通における6月末在庫状況、を提供いたします。

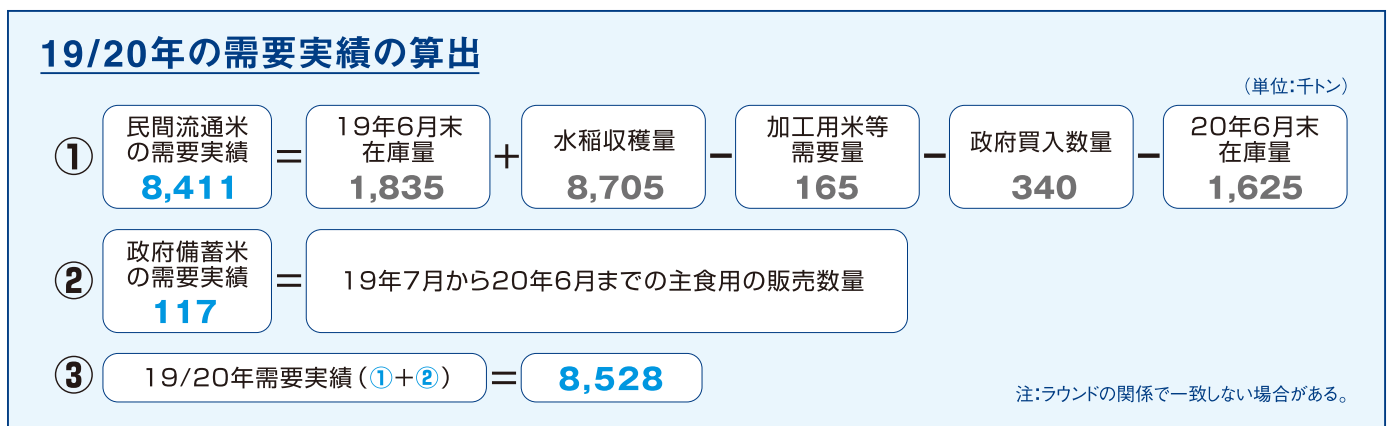
【 米穀の需給見通し

1. 平成19/20年の需要実績

平成19/20年(19年7月から20年6月までの1年間)の需要実績(速報値)は図表1のとおり8,528千トンで、小麦製品を含めた食料品全般の価格が上昇する中で、比較的価格が安定している米に需要がシフトしたこと等により、平成18/19年の需要実績8,375千トンと比べ増加しています。

なお、需要実績については、平成20年11月作成の「基本指針」における確定値報告に向け、精査を行うこととしています。

図表1 平成19/20年の需要実績(速報値)



2. 全国の平成20/21年の需要見通し(速報値)

平成20/21年(20年7月から21年6月までの1年間)の全国の需要見通しは、平成8/9年(8年7月から9年6月までの1年間)以降から直近の19/20年までの全国の需要実績を用いて、トレンド(回帰式)で算出することとし、その算定結果は、図表2のとおり831万トンとなります。

図表2 平成20/21年の需要見通し(速報値)

平成20/21年

831万トン

3. 平成20/21年の需要見通し(速報値)

平成20/21年の需給見通しは、図表3のとおりとなります。

図表3 平成20/21年の主食用米等の需給見通し

(単位:万トン)

		全体需給	うち政府備蓄米
20年6月末在庫量	A	262	99
20年産主食用等生産量	B	815	50*
20/21主食用等供給量計	C=A+B	1,077	149
20/21主食用等需要量	D	831	50*
21年6月末在庫量	E=C-D	246	99

注:「*」を付した値は仮置きした数量である。

II 米の1世帯当たりの購入数量

米の1世帯当たりの購入数量(2人以上の世帯)は、図表4のとおり平成20年1月以降、いずれの月も前年同月を上回っており、米の消費に関して明るい兆しがあります。

図表4 1世帯当たりの米の購入数量(2人以上の世帯)

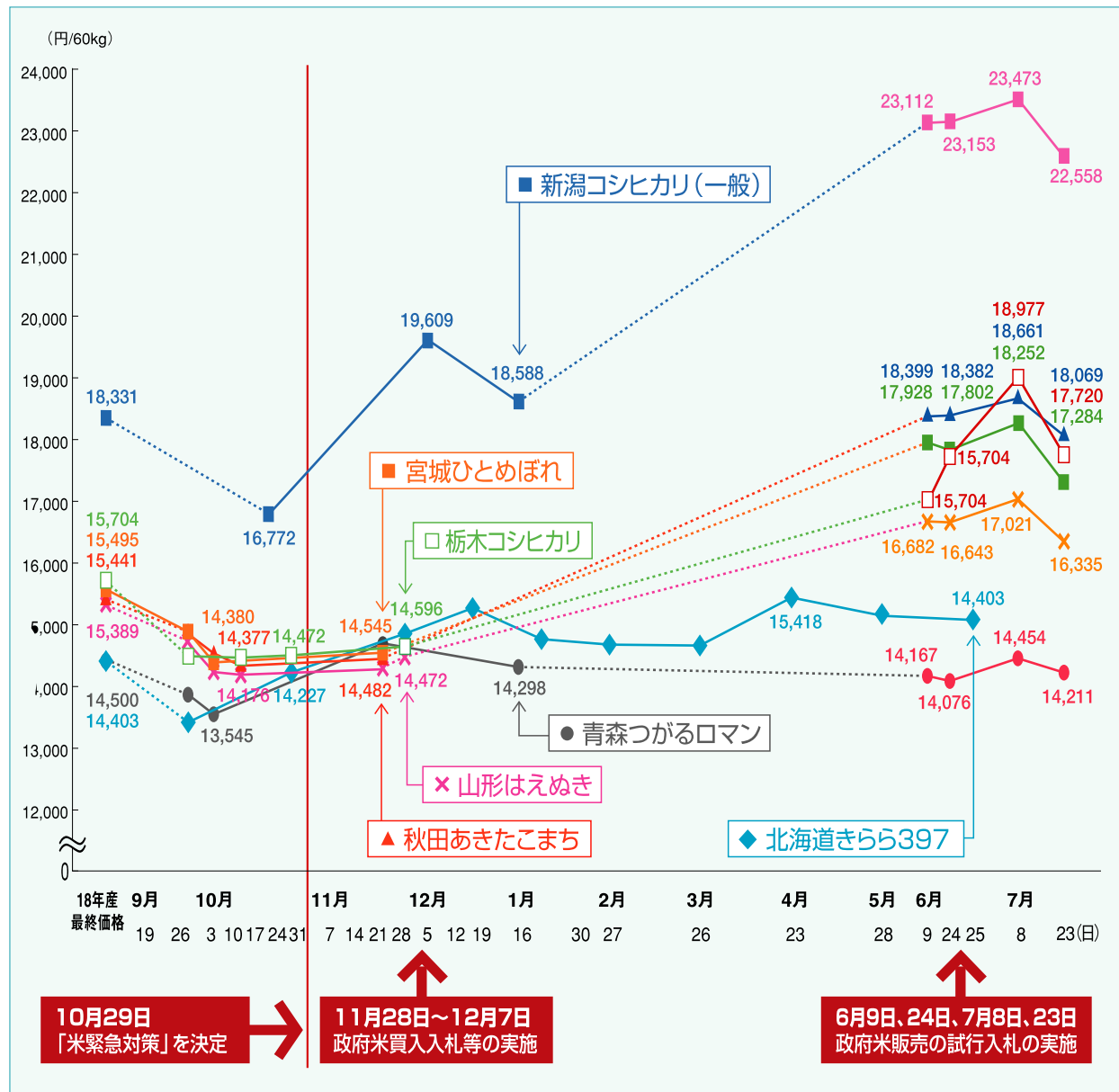
年	月	購入数量(kg)	対前年同月比(%)
2007 (平成19)	1	4.93	98.8
	2	5.72	105.1
	3	6.38	92.6
	4	6.36	98.6
	5	6.31	95.2
	6	6.25	99.5
	7	6.33	100.8
	8	6.08	100.3
	9	10.25	114.8
	10	11.39	94.0
	11	7.50	104.0
	12	7.77	99.6
2008 (平成20)	1	5.16	104.7
	2	5.84	102.1
	3	6.77	106.1
	4	6.48	101.9
	5	6.43	101.9
	6	6.45	103.2

資料:総務省「家計調査」

III 政府米（国産米）の試行的販売

平成19年10月29日に決定した「米緊急対策」に基づき、34万トンの政府買入が行われました。この「米緊急対策」の決定で、コメ価格センターの価格は、図表5のとおり下げ止まりました。一方、政府米の販売については、「米緊急対策」を踏まえ、「当面、原則として販売を抑制」とされていましたが、集荷業者団体等から販売業者への契約締結が例年になく早いペースで進む中で、一部の銘柄に不足感が生じつつあったこと、コメ価格センターへの上場がほとんど終了していることから、特例的に19年産米を含めた政府米の試行的販売が行われました（6月～7月に4回：6/9、6/24、7/8、7/23）。

図表5 センター価格と政府米（国産米）の月別販売価格の推移



資料：グラフは、センター価格はコメ価格センター入札結果、その他の価格は農林水産省調べを基に米穀機構で作成した。

注：1) コメ価格センター入札価格は、包装代、抛出金、運賃及び消費税相当額を含んでいる。

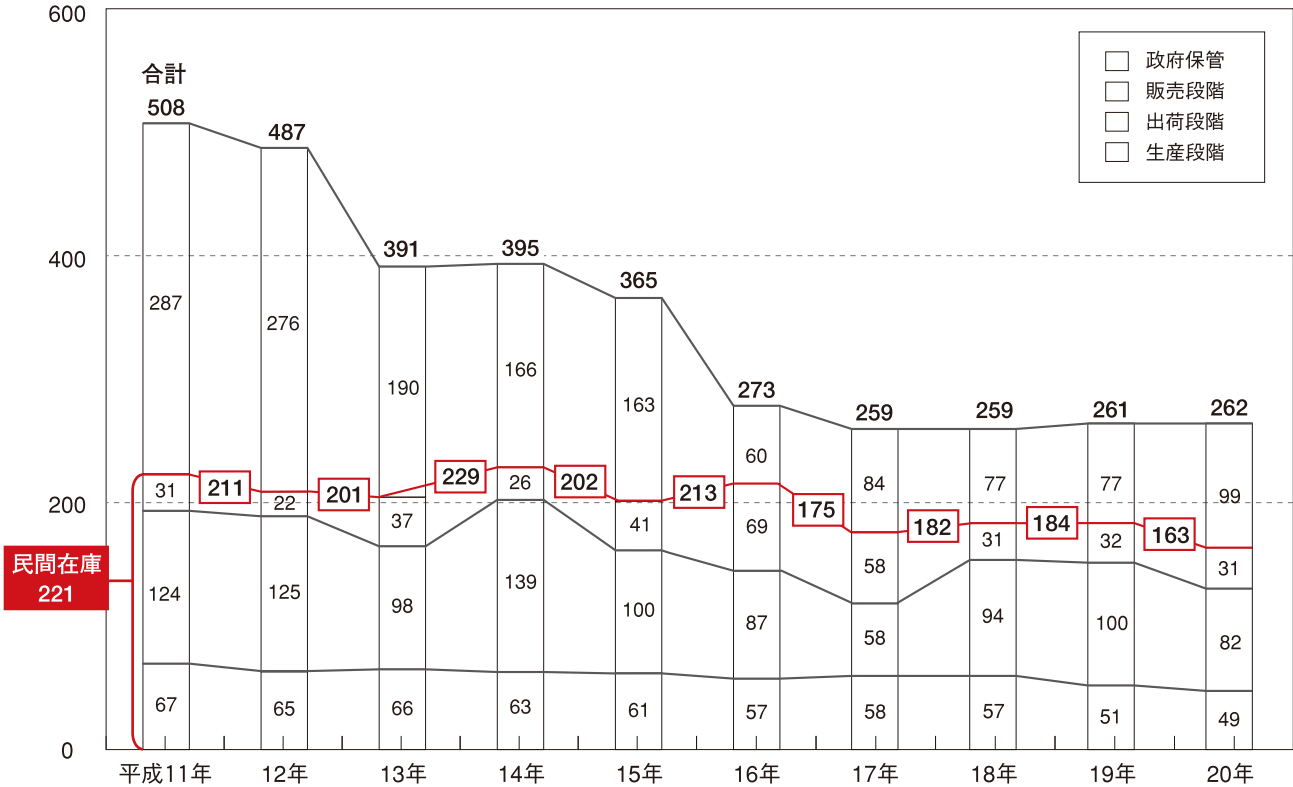
2) 政府売渡価格は、試行入札販売結果であり、包装代及び消費税相当額を含んでいる。

IV 政府及び民間流通における6月末在庫状況

米穀の政府及び民間流通における6月末在庫は、図表6のとおり平成17年6月末以降260万トン前後の水準で推移しています。

図表6 政府及び民間流通における6月末在庫の推移

(単位:万トン)



資料:農林水産省調べ

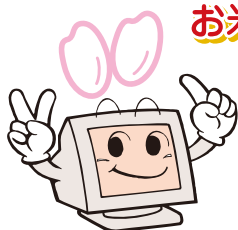
注:1)うるち米及びもち玄米の値である。

2)各年の民間在庫において、

- ①平成16年以降については、年間玄米取扱数量500トン以上の業者(販売・出荷段階)の数量である。
- ②平成15年については、
 - ・販売段階の在庫量は、旧登録卸売業者の年間玄米取扱数量500トン以上、旧登録小売業者の1,000トン以上の業者の数量である。
 - ・出荷段階の在庫量は、年間玄米取扱数量500トン以上の業者の数量である。
- ③平成14年以前の数量については推計値であり、
 - ・販売段階の在庫量は、卸在庫量に小売在庫量(推計)を加えた数量である。
 - ・出荷段階の在庫量は、系統在庫量に非系統在庫量(推計)を加えた数量である。
 なお、生産段階の在庫量は、「生産者の米穀現在高等調査」を基に算出した在庫量(推計)を控除した玄米在庫量である。

3)平成20年6月末在庫は速報値である。

4)ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。



お米・ごはん情報満載のホームページ 米ネット

米穀機構のホームページ「米ネット」では、お米の価格・消費・生産などの統計データをはじめ、生産者の皆様向けのお米に関する情報やすぐに役立つごはん料理レシピなど最新の情報を常時提供しています。

また、生産者の皆様からの「米ネット」に関するご提案・ご要望をお待ちしております。

「生産者のコーナー」の中の「意見を投稿する」の投稿フォームからEメールをご利用ください。皆様のアクセスをお待ちしています。